

令和6年度 学校教育目標 「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」

重点目標 「自ら学び、共に高め合う子」「自分の思いや考えを言葉で表現できる子」



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和6年4月発行

令和6年度 学校教育目標 「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」

校長 土屋 清隆

ここ数年は、桜の花が3月中に咲いてしまい、入学式にはすっかり葉桜になっていることが多かったのですが、今年は入学式・始業式を桜の咲く中で実施することができました。

令和6年度がスタートしました。5日（金）の入学式では8名の新入生を迎え、全児童数50名のスタートとなりました。式では、緊張しながらもりっぱな態度で参加する新1年生、そんな1年生を優しくエスコートする6年生。さらに新入生を見守る在校生がいて、会場全体が温かな雰囲気に包まれました。

丹那小学校では、地域の皆様、諸先輩方の思いを大切にしながら、コミュニティ・スクールとして、地域と学校が地域と子供がつながり、誰もが居場所のある学校づくりをさらに発展させていきます。

令和6年度の学校教育目標は「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」です。挑戦については、引き続き難しそうなことにも未知のことにも恐れず、たくましくそしてしなやかにチャレンジできる子供が育つように全職員で支えていきます。

また、子供たちが挑戦することによって人・こと・もの・学びにつながり、それらとつながることで安心して挑戦意欲をもつことができることと思います。「挑戦」と「つながる」をキーワードにして子供たちが生き生きと活躍する子供主体の学校づくりを目指します。



始業式での6年生代表児童（近藤 奏さん）の誓いの言葉で、「三つのステージでがんばりたいこと」や「最上級生として学校のリーダーとしてがんばっていききたいこと」を全校の子供たちに伝えてくれました。全校児童がわかり合える丹那小学校のよさを生かして、自分の言葉で他者とつながっていけるように子供たちを応援していきます。

8日（月）からは、通常の授業がスタートしました。朝、登校してくる子供たちが大きな声で「おはようございます！」と元気よく挨拶をして学校に入っていきます。幼稚園側から校内に入る子達も、正門まで聞こえる大きな声で見守り隊の方に挨拶をしています。子供たちにとっては当たり前前の光景なのかもしれませんが、気持ちよく挨拶する姿に感動しました。素敵なスタートをきることができました。